



## 著書の紹介

「まっすぐだけが生き方じやない  
—木に学ぶ60の知恵—」

山形大学農学部准教授

吉村 謙一

「まっすぐだけが生き方じやない  
—木に学ぶ60の知恵—」は表紙  
にある樹木のイラストが印象的な  
「読む森林浴」をコンセプトにした  
本です。樹木に関する専門書とい  
うより、樹木の生き方から学ぶ自  
己啓発本のような感じで気楽に  
読める本なのではと思います。

樹木は動物と違つて動くことが  
できませんが、「かたち」を変えた  
り様々な化学物質を使つたりして  
工夫することにより、寒さや光、風  
などの厳しい環境の中でも生きて  
いくことができます。この本では  
日本を含めた世界中に生育する  
60種類の樹木の生き方を紹介し  
ています。ある木は他の木に負け  
ないように必死に成長していたり、人  
間の性格と同じように樹木にも  
様々な性格があります。タイトルに

ある「まっすぐだけが生き方じや  
ない」は本文中では強風になびき  
ながら斜めに伸びることで折れ  
ずに生きる樹木の工夫について紹  
介したもので。私たちもこうし  
た樹木のように様々なストレスを  
受けますが、ストレスを受け流し  
ながら生きていけばいいのではとい  
う作者のメッセージが込められています。

木のいろいろな性格を知つて樹木の生態のお  
もしろさを知るきっかけにもなる  
し、今日の気分はどんな樹木の気  
分だろうと自分の気分を樹木に  
照らし合わせることもできるし、  
純粹に絵本として樹木のイラスト  
を楽しむこともできるし、様々な  
楽しみ方ができる本だと思います。



2022年4月8日発行 1,300円(税別)

## 年会費(2,000円)の納入にご協力ください。

### お知らせ

- 令和4年1月17日より、ゆうちょ銀行窓口及びATMから「現金」でお支払いいただく場合、1件につき110円(税込)の送金手数料が発生することになりました。
- コンビニからのお支払いは、これまで通り手数料がかかりません。
- スマートフォンアプリからのお支払いが可能となりました。こちらも手数料がかかりません。  
(振込用紙の金額欄に×マークがある方は、入学時に20年分の会費を頂いておりますので入金の必要はありません)

## 「会員の声」募集!!

学生時代の思い出や近況をぜひお寄せください。  
掲載ご希望の方は、  
下記の鶴窓会事務局までご連絡ください。

「鶴窓会だより」への  
広告を募集しております。

団体・個人(名刺判)等、受け付けております。  
下記の鶴窓会事務局までご一報下さい。

山形大学農学部 鶴窓会事務局へのお問合せはこちら

TEL/FAX **0235-28-2897** (平日 9:00~13:00) E-mail [kakusoukai1950@gmail.com](mailto:kakusoukai1950@gmail.com)



焼畑カブ（温海カブ）の収穫／上名川演習林での森林資源利用学実験実習より

会長挨拶



山形大学農学部鶴窓会  
会長菅原幸司

会員の皆様には日頃より鶴窓会に格別のご支援とご高配を賜り感謝申し上げます。

山形大学農学部は、設立以来76年の長きにわたり農学の世界で優れた成果を上げ、地域社会に貢献してきました。これまでに、1万余名の有為の人財を学卒者として、また研究者として全国各地に送り出しています。昭和25年(1950年)に第1期生が卒業され、山形大学農学部

同士、先輩と後輩、卒業生と現役在校生が対面して、知識と経験をシェアしながら、年代、世代を超えて人的関係を構築することは鶴窓会事業の目的でもあります。また、現役在校生に対し新たなアイデア、視点の契機を提供し、卒業後の可能性を広げることにもなり得ます。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、令和5年5月8日から「5類感染症」に

更)について審議いただ  
き承認されました。副会  
長を増員することによ  
り業務の分担を図り負  
担を軽減し、鶴窓会事  
業をより効率的に推進  
することを意図したも  
のです。

6月28日に役割分担  
について協議を行い、次の  
通り決定いたしました。  
分担は一部重複してい  
ます。

1.個人情報保護担当  
2.①学生会員とのつな  
がり／就職支援担当(3

「費担当」に係る事業の一つとして、「20年会費納入者の20年経過後の会費について」をテーマに現段階で把握している課題及びその対応策について報告をいただきました。今後の鶴窓会事業における重要な課題であり、本部と支部の共同プロジェクトとして取り組みを進めることとなります。担当支部において先行的に実施し、その成果を全体に敷衍していきたいと思います。

鶴窓会は山形大学農学部、校友会及び山形大学当局との開かれたコミュニケーションと協力関係を基礎として、共通の目標に取り組んでいく必要があります。卒業生及び在校生、お互いにとつて魅力的なテーマについて、具体的な方向性、手法について模索しながら推進していくきたいと思います。皆様からのご助言を期待申し上げます。

なりましたが、鶴窓会事業におきましても、6月3日本年度の代議員会を通常通り開催することができました。また、各支部の総会においても対面での開催が行われております。	業担当
代議員会の第1号議案として、会則改定(副会長を3名から5名に変更を)、「4・同窓会として、会則改定(副会長(兼任))」	名)②学生研究支援事業担当
例えば、「4・同窓会として、会則改定(副会長(兼任))」	3.山形大学校友会担当
7.涉外担当及び事務局長(兼任)	4.同窓会費担当(2名)
6.同窓会誌／鶴窓会だより担当(2名)	5.新支部設立担当(2名)
20歳台、30歳台では低く、50歳台以後になると高齢世代ほど高くなるという	名)
ことでした。ライフサイクルを考えると、さもあり	ナードの事例の紹介がありました。卒業生の同窓会についての認知度は
なんと感じます。	先般、参加したセミナーにおいて他大学のアンケートの事例の紹介が

目 次

会長挨拶	3
鶴窓会会长 菅原 幸司(昭和49年農芸化学科卒)	
特集	4
山形大学アグリフードシステム先端研究センター(YAAS)の取り組み～農と食を繋ぐ～	
山形大学アグリフードシステム先端研究センター(YAAS)について	4
学部長 村山 秀樹	
スマートテロワール発 庄内産小麦プロジェクト	5
助 教 中坪 あゆみ	
農業・農学について 私の意見	9
芳賀 修一(昭和46年農学科卒)	
シリーズ第2回「庄内の農業を語る」	10
梅津 博(昭和56年農学科卒)	
学生会員の活躍	12
学会賞	
齋藤 静香(農学研究科農学専攻生物環境学領域1年)	
花笠サークル「四面楚歌」	
外塚 未夢(食料生命環境学科アグリサイエンスコース3年)	
退職に寄せて	14
教 授 平 智	
教 授 村山 哲也	
教 授 林田 光祐	
着任のご挨拶	16
准教授 相蘇 春菜	
准教授 張 海仲	
助 教 木村 ゆり	
助 教 今野 真輔(平成27年食料生命環境学科卒・平成29年農学研究科修了)	
学生研究支援事業について	18
鶴窓会副会長 加茂田 俊則(昭和48年林学科卒)	
鶴窓会会長賞について	19
会員の声	20
菅原 賢昭(昭和47年農学科卒)	
三浦 宏和(昭和49年園芸学科卒)	
莊司 真一(昭和50年農学科卒)	
八島 昌一郎(昭和50年農業工学科卒)	
後藤(佐藤) 五十鈴(昭和54年農芸化学科卒)	
高橋(佐藤) あけみ(昭和54年農芸化学科卒)	
山谷 瞳(昭和62年林学科卒・平成元年農学研究科修了)	
二宮 弘明(平成元年園芸学科卒)	
岩津 雅和(平成2年農芸化学科卒)	
高橋 輝昌(平成3年林学科卒)	
佐藤 成悦(平成4年林学科卒)	
岸 弘昭(平成5年農学科卒)	
須佐 誠悟(平成8年生物生産学科卒)	
藤田(江原) 宏美(平成11年生物生産学科卒)	
菅野(齊田) 薫(平成20年生物生産学科卒)	
荒生(松崎) 真央里(平成21年生物生産学科卒)	
大竹 史孝(平成23年生物生産学科卒)	
学生会員の声	31
吉住 興太(食料生命環境学科 アグリサイエンスコース4年)	
横山 采佳(食料生命環境学科 エコサイエンスコース4年)	
緒方 留実(食料生命環境学科 バイオサイエンスコース3年)	
同期会	33
岩城 功希(昭和38年農業工学科卒)	
初瀬川 政典(昭和48年園芸学科卒)	
支部報告	35
北海道支部／庄内支部／最上支部／村山支部	
宮城県支部／新潟県支部／関東支部	
追悼	40
<三橋 渉先生>	
教 授 豊増 知伸	
渡邊 信彦(平成8年生物生産学科卒・平成10年農学研究科修了)	
野村 俊尚(平成18年生物資源学科卒)	
小倉 亮子(平成27年食料生命環境学科卒・平成29年農学研究科修了)	
訃報	42
事務局からのお知らせ	42
令和5年度代議員会報告／幹事及び代議員名簿／人事異動／	
令和4年度事業並びに活動報告／令和5年度事業計画／	
鶴窓会功労者／令和4年度決算・特別会計積立金決算／	
令和5年度予算・特別会計積立金予算／	
令和4年度就職状況／編集後記・編集委員	
著書の紹介	48
准教授 吉村 謙一	